



アスリートのコトバ

「挑戦」



プロバスケットボールチーム
ベルテックス静岡 所属

いちかわ まさと
市川 真人 さん

僕が大事にしている言葉は「挑戦」という言葉です。小さい頃から身長には恵まれていましたが、身体の強さ、健康状態に関しては良いものとは言えませんでした。バスケットを始めた理由も体を鍛えるため、強くするためでした。高校2年生の時にU22代表に最少年で選ばれましたが、なぜ選ばれたのか、分からないぐらい自分にとって初めての「挑戦」でした。

しかし、何事にも挑戦することによって次への道が開かれると思います。自分もU22でがむしゃらに頑張った結果、多くの指導者の目に留まるようになり、気にかけてもらえるようになりました。いつ、どこで、誰が見ているか分からないので、自分が成し遂げたいこと、やってみたいことにはぜひ挑戦してみましよう。

僕自身、挑戦することによって日本代表の合宿参加、アジア競技大会への参加、たくさんの経験をこの年齢ですることができました。まだまだ、さまざまなことに挑戦したいですし、皆さんにもまず「挑戦」をして欲しいです。

どんな事でも、挑戦してみることが大事だと思います。目の前の小さいことでも大丈夫です。少しずつ、自分の叶えたいことや夢に「挑戦」してみましよう。

全国的に観光地やサービスエリアなど、人が集まる場所のトイレはきれいに整備され、洋式化はもろろんのこと、誰もが快適に利用できる空間であることが求められています。市長に就任してから、本市もまずはJR磐田駅およびJR豊田町の北口南口のトイレをリニューアルしました。また、和式トイレに座ることに苦労するシニア世代の利用が多い公共施設や、公園のトイレも、市役所内にプロジェクトチームを作り、優先順位を付けて徐々に和式から洋式に改修を進めています。

そして、何より要望の声が多いのは学校のトイレです。本市は市立小中学校32校全てにおいて、校舎のフロアごとに必ず一カ所は洋式トイレになるよう整備を進めてきました。しかし、令和4年度末時点で洋式化率が37・4%と県内市町の中で最下位ということが分かりました。早速計画を前倒し、令和7年度末に洋式化率60%という目標を設定しました。現在、普通教室のある校舎を優先して大幅に改修を行っているところです。

トイレの洋式化は、広いスペースを必要とすることや暖房便座などで電気設備の変更も伴うため、工事に時間がかかってしましますが、改修することによって、災害時に学校を避難所として利用する高齢者も安心して利用できるため、子どもたちだけではなく地域の方からも喜びや期待の声が届いています。今後、スピード感を持って、市内トイレの洋式化を進めていきます。



大クスノの下から

第37回

公共トイレのリニューアル

市長 草地博昭